

食品産業ニュースレター

こんにちは、東北農政局です。寒い日が続いていますが、日差しの中に少しずつ春の気配を感じるようになってきました。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期ですので、温かいスープや旬の野菜をしっかりとって、体の内側から温まる食事を心がけてお過ごしください。

●お知らせ1

「食べて応援しよう！in仙台2026」を開催します

東北農政局は、東日本大震災の被災地支援の一環として、東北地域の震災復興、農林水産物の風評払拭のため、岩手県、宮城県及び福島県の被災3県の農林漁業者、食品事業者が農林水産物や加工品などを販売するイベント「食べて応援しよう！in仙台2026」つないだ絆はこれからも～岩手・宮城・福島からのありがとう～を開催します。



【開催概要】

日時：令和8年3月14日(土曜日)10時00分～16時00分
令和8年3月15日(日曜日)10時00分～15時00分
場所：勾当台公園仮設広場(宮城県仙台市青葉区)

【イベント内容】

- ◆ 岩手県・宮城県・福島県の農林漁業者及び食品事業者等48店舗が出店し、被災地の農林水産物や加工品の販売、被災地食材を利用した飲食メニューを提供
- ◆ 店舗でのお買い上げに応じた「お買い物ラリー」
- ◆ 行政ブースで、被災地支援や食に関する取組を紹介するパネル展示及びクイズ企画を実施
- ◆ 歌手の伊東洋平さんやマジシャンの空先拓海さん、～食べつくせ！～TOHOKU食の応援大使を務める「みちのく仙台ORI☆姫隊」や「伊達武将隊」、ご当地キャラクター等によるステージイベントを開催

詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/keiei/syokuhin/260213.html>



●お知らせ2「東北地方食品ロス削減・食品アクセス確保連絡会の研修・交流会」を開催しました

東北農政局は、令和8年2月4日に「東北地方食品ロス削減・食品アクセス確保連絡会の研修・交流会」を開催しました。当日は、宮城県から宮城県の食品ロス削減の取組について、NPO法人フードバンク仙台からフードバンク活動の取組について事例紹介をいただき、消費者庁から食品寄附ガイドラインについて、東北農政局からは、令和8年度予算概算決定のうち食品ロス削減及び食品アクセス確保に関する支援について説明を行いました。ご参加いただいた会員の皆様、ありがとうございました。

内容

- ・宮城県における食品ロスの現状と削減の取組について(宮城県)
- ・物価高騰下におけるフードバンク活動の現状と企業・団体との連携について(NPO法人フードバンク仙台)
- ・食品寄附ガイドラインについて(消費者庁)
- ・令和8年度予算概算決定について(東北農政局)

本連絡会への加入を希望される、食品関連事業者、フードバンク団体等の方は、[【入会申込フォーム】](#)からお申込みください。情報の取扱いについては「[プライバシーポリシー](#)」をご覧ください。

▶講演の様子



宮城県 天野技師



NPO法人フードバンク仙台 川久保理事

▶会場の様子



▶交流会の様子



詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/tohoku/syouan/syokuri/>

※開催概要については、近日中に東北農政局HPIに掲載



●お知らせ3

令和7年度GIシンポジウムを開催します

日本地理的表示協議会は、3月6日(金)に、GI登録生産者団体、連携事業者の皆さま等との取組を振り返り、各種の取組や活動で得られた成果について、広く参集した関係者の皆さまと共有を図るとともに、GI登録生産者団体のこれまでの活動を称える機会として、『令和7年度GIシンポジウム ～GI制度10年の軌跡と未来戦略～』を開催します。

内容

- ・GI推進事業等活動報告
- ・登録生産者団体及び連携事業者表彰
- ・GIピッチ～生産者団体・連携事業者による今後の展開PR～

開催日時

令和8年3月6日(金) 13時30分～15時40分

開催方法

オンライン

申込方法

[参加申込フォーム](#)よりお申込みください。

申込期限

令和8年2月27日(金)

参加対象

GI登録生産者団体、日本地理的表示協議会正会員・協力会員、食品関連事業者、流通事業者 等
どなたでも参加が可能です。

詳細はこちら

<https://www.jgic.jp/event/2026/260306symposium.html>

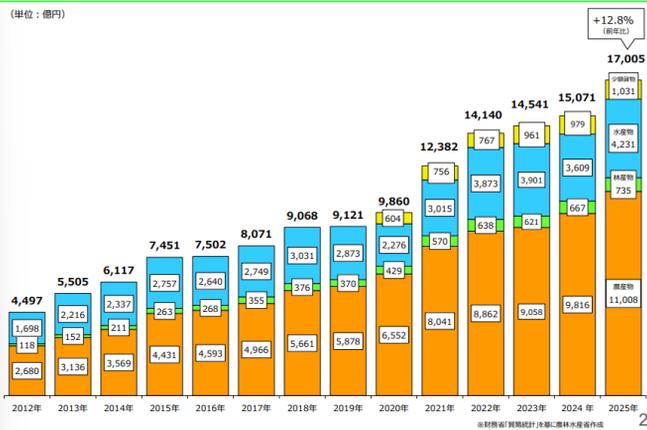


●お知らせ4

「2025年の農林水産物・食品の輸出実績」について

農林水産業は、「2025年の農林水産物・食品の輸出実績」を取りまとめました。2025年1-12月の農林水産物・食品の輸出額は、1兆7,005億円となり、前年比で12.8%の増加、+1,934億円の増加となりました。

農林水産物・食品 輸出額の推移



2025年の農林水産物・食品 輸出額 (1-12月) (品目別)

品目	金額 (百万円)	前年比 (%)	品目	金額 (百万円)	前年比 (%)
農産物	142,769	+2.3	加工食品	572,488	+7.2
畜産物	117,253	+9.2	清涼飲料水	60,434	+5.2
牛肉	73,105	+12.8	菓子 (水産物除く)	37,384	+8.8
豚肉	2,977	+25.3	米菓 (あん・餅・べい)	5,959	+9.3
鶏肉	2,548	+2.7	ソース・調味料	72,146	+7.8
鶏卵	8,140	+14.5	味噌	7,142	+13.1
生乳・乳製品	30,482	+0.2	醤油	13,493	+10.7
生果・野菜等	21,071	+2.9	アルコール飲料	149,477	+11.8
りんご	14,369	+28.6	日本酒	45,879	+5.6
ぶどう	4,669	+21.3	ウイスキー	48,978	+12.2
いちじく	2,474	+16.2	焼酎 (四割を含む)	1,960	+13.9
りんごかん	1,436	+3.4	農産物計	1,100,821	+12.1
かんかん加工品	1,118	+1.1	林産物	73,478	+10.1
なし	1,141	+11.7	木材	10,238	+38.4
いちじく	6,736	+24.6	合板	8,609	+16.5
かんしんかんしん加工品	4,465	+24.0	丸太	29,850	+5.8
なすいも	3,721	+10.9	木製製品	8,610	+9.4
さといも	1,200	+5.9	水産物 (調製品を除く)	353,604	+25.4
たまねぎ	123	+62.3	水産物	353,604	+25.4
雑穀物	78,233	+5.5	ぶり	52,775	+27.4
米 (調製米を除く)	13,880	+15.4	たい	8,024	+16.2
パッパル製粉	2,022	+31.0	新芋類	90,587	+30.8
その他の農産物	198,496	+27.3	牡蠣	4,242	+12.2
緑茶	72,094	+98.2	真珠 (天然・養殖)	41,167	+0.1
抹茶	7,872	+19.8	調製	9,973	+37.5
切り花	1,491	+9.3	いんげん	20,742	+91.8
桐実等	6,090	+23.1	かつお・まぐろ	21,537	+7.2
其他	22,844	+14.5	まぐろ	4,493	+20.5
			さけ	19,077	+94.5
			さんま	876	+10.4
			すし・刺身	1,389	+21.1
			水産物計	69,314	+12.0
			なまこ (調製)	7,893	+4.8
			練り製品	11,768	+24.0
			加工水産物	11,827	+33.2
			水産物計	1,276	+8.9
			水産物	423,118	+17.2
			農林水産物・食品	1,597,417	+13.4

全体の状況(1-12月)

- ・主要輸出先国・地域のすべてで対前年比でプラスを記録し、13年連続で過去最高を更新しました。
- ・米国向けについては、4月から関税措置が導入されたものの、緑茶や牛肉に対する旺盛な需要を背景に、対前年比13.7%増加の2,762億円を記録したほか、日本産水産物の輸入規制の影響が残る中国向けについても、対前年比7.0%増加の1,799億円を記録しました。
- ・品目別では牛肉、米、緑茶、ぶりなどが、国・地域では、米国、台湾、韓国などが過去最高を記録しました。
- ・関係者の聞き取りでは、日本食への関心の高まり、インバウンドによる日本食の認知度向上、健康志向の高まり等を背景に、既存商流における取扱量の拡大や新規商流の獲得などが輸出増加の要因でした。

詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kikaku/260203.html



発行元お問合せ先

東北農政局 経営・事業支援部 食品企業課 仙台市青葉区本町3-3-1 (仙台合同庁舎A棟)
 TEL: 022-263-1111 (ダイヤルイン: 022-221-6146) E-mail: tohoku_shokuhin@maff.go.jp